

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年3月10日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671500082
法人名	有限会社 さくら商事
事業所名	グループホーム 吉田さくらの里
所在地	鹿児島県鹿児島市東佐多町2060番地 (電話) 099-295-2422
自己評価作成日	平成28年11月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL <http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46>

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年2月28日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

両棟を囲んだ広い中庭があり、天気の良い日は両棟の交流を図りながらお茶、食事、外気浴、散歩、レクリエーションなどを楽しんで和気あいあいと穏やかな時間を過ごしております。庭の隅に畑を作り、草むしりや水まきなど手入れをしながら野菜作り、収穫、調理、食事までと共同生活を楽しんで頂けるよう支援しております。小中学校、地域の行事、清掃活動への参加、ボランティア実習生の受け入れ、講師による音楽療法も行っております。

ホームの理念として「この家で、共にくつろぎ、共にやすらぎ、地域とふれあいのある暮らし」を目指し、地域の方々の協力をいただき、地域の中で安心してその人らしく暮らすことができるよう支援しております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当事業所は、消防署の指導の下で総合訓練を年2回、自主訓練を年4回、昼夜想定の避難訓練やAEDの訓練を実施している。運営推進会議参加者や地域の人々も参加して避難場所や避難経路の確認をしている。スプリンクラーや緊急通報装置を設置し、緊急連絡網に地域住民の登録等、地域との協力体制ができている。
- 外出の企画が多く、利用者や家族からも喜ばれている。
- 運営推進会議が充実しており、近くの川の危険性について、参加者からの提案や助言があり、市に陳情し危険水位の設置がされ、大きな橋がかかり、今後、災害時の安全な避難に反映させる計画である。
- 管理者は職員が働きやすい環境作りに配慮し、職員の意見や提案を積極的に取り入れている。出された提案項目の一つに、背中や臀部も洗える入浴時のリクライニング車椅子の設置についても職員から出された意見で入浴介助に反映する方針である。
- 職員は勤務年数も長く、コミュニケーションも良い。利用者個々人の気持ちを大切に支援目標を決め、更なるケアの向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	管理者、職員は地域密着型サービス事業所の社会的役割を認識し理念を共有し実践に繋げている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念は、事業所内に掲示しパンフレットにも掲載している。ミーティングや各棟会等で集まる時に職員全員で唱和している。会議等で、理念を掘り下げて話し合い、共有して実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	学校や地域等に積極的に参加している。又、散歩などに出掛け、地域の方々と挨拶を交わしている。	地域行事の運動会や文化祭・地域ロードの花の植え替え作業・草刈作業・清掃作業に積極的に参加している。小学生のサマーボランティア・中学生の体験学習・専門学校生の実習・ボランティアの受け入れ等も行っている。日頃から地域の商店を利用して買い物等で日常的に交流している。地域住民の見守りもある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	車イスの使い方、心肺蘇生についての勉強会などを地域の方と一緒に行っている。又、他の施設と共同で認知症の講話をを行うなど認知症の理解向上に力を入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に運営推進会議を行い、ホーム内の取り組みや状況等を説明している。又、様々な意見を協議し、サービスの向上に活かしている。	会議は2ヶ月に1回開催している。事業所の状況やテーマを決めての研修・外部評価の結果報告等を行い、参加者から多くの助言や提案がある。会議で災害時の避難等の情報を聞いたり、川の危険水位の設置や市へ陳情していた橋も完成の予定で、避難経路としてサービスに活かしている。	
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の福祉課の方にご利用者の相談、アドバイスをもらったり、商工会の親睦会、地域ケア交流会、グループホーム協会での意見交換を行っている。	市担当者には、事業所の実情や取り組みを伝え、連携を深めている。毎年介護相談員を受け入れている。市主催の研修会にも積極的に参加し、さらに生活保護の担当者とも密に連絡し合っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	月1回ミーティングで勉強会を実施し、職員の共有認識を図り身体拘束をしないケアを実践している。	身体拘束廃止委員会で、マニュアルに沿って定期的に勉強会を実施している。事例検討等で職員の共有認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中の玄関の施錠はせず、外出しそうな様子を察知したら、見守りや同行など職員間の連携で自由な暮らしを支援している。地域の見守りもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。	勉強会を開き、職員全員が学んでおり、虐待について理解し防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修会に積極的に参加し、その都度、学んだ内容を合同会議にて報告し、知識の向上に繋げている。		
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、契約後も尋ねられたら説明をし、納得して頂くよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者の思いや意見は日常の会話の見守り、ご利用者家族のアンケートや来訪時の対話、行事、家族会などで把握に努め意見を運営に反映している。	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、市相談員の結果も参考にしている。家族からは面会や家族会・電話・年1回アンケート調査等で意見を聞いている。意見箱も設置している。外食希望のある時は、極力出かけて行く事にして、楽しみな暮らしの支援ができるように意見を反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	月1回の合同会議で職員一人ひとりが意見を述べる環境を作っている。職員の業務に限らず全てにおいて意見や提案を聞き取り働きやすい環境作りや業務改善に繋げている。	管理者はミーティングや職員会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。提案により、背中や臀部も洗える入浴時のリクライニング車椅子の設置についても職員から出された意見で入浴介助に反映する方針である。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	職員とのコミュニケーションを通じ各自の悩みや意向をくみ取る環境作りに努めている。		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	外部研修に年2回以上の参加を促し、他事業所交流も積極的に参加するなど職員が学び考え働く環境作りに努めている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	GH協議会、ひっちこ会、地域ケア交流会など他事業所との情報交換を行い、ホームの環境改善、ケアの改善、ケアの質の向上へと繋げている。又、実習生の受け入れでのケアの気づきによる質の向上へと繋げている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人、ご家族の希望などを伺い、日々の生活に反映するよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前にご本人、ご家族と面談をし情報収集に努めてご家族と信頼関係を作っている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	更新（3ヶ月毎）以外にも必要となった時点で書き換え、それ以外のサービス利用の対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、又支援する側ではなく、お互いが協働しながら和やかな生活ができるように場面作りや声掛けをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月1回のお便りに活動報告をし、ご本人、ご家族の関係が途切れないように留意し、来訪時にはご家族との潤滑油になるように心がけている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人、友人等に会いに来て頂いたり、電話等で連絡を取って頂いており、繋がりを継続できる支援をしている。	本人がこれまで大切にして来た馴染みの人や場所を把握し、親戚や友人・知人の訪問の際には、お茶を出したりしている。馴染みの店での買い物や墓参の支援、訪問理美容師やマッサージ師も出張で来訪する等、継続的関係が途切れないよう支援している。電話の取次ぎも行っている。家族の協力で外出や外食などの際にも支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションなど、皆さん一緒に楽しく過ごして頂く時間や特技、気の合う方同士で過ごす場をつくり、ご利用者同士の関係がうまくいくよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用契約が終了しても遊びに来て頂いたり、会いに行く等、関係性を大切にし、必要に応じて相談にのる等している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日々の関わりの中で声を掛け、把握に努めている。言葉や表情を筆談などからそれとなく確認し、常に職員と共有している。</p>	<p>利用者との日々のケアの中で声をかけ、言葉や表情等から思いや意向の把握に努めている。困難な場合は家族や関係者からも情報を得、利用者の視点に立つて職員で話し合い、本人本位に支援を話し合っている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ご利用者1人1人の生活歴をスタッフ全員が知っており、その方に応じた支援をしている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>ご利用者の生活リズムを理解すると共に小さな行動も見逃さず、出来ないことより出来ることに注目し、その方全体の把握に努めている。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人、ご家族、必要な関係者と度々話し合いを行い、スタッフとも会議でそれぞれ意見を出し合い、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人や家族・必要な関係者の意向を確認し、担当者会議で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。毎月モニタリングを実施し、3ヶ月に1回のカーフェレンスで見直しを行っている。変化のない利用者の場合は6ヶ月後の見直しの場合もある。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	食事、水分量、排泄等日々のご利用者の様子やエピソード等を記録している。職員の気づきや夜間帯での出来事、変化もケア記録に記載し情報共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、ご家族の状況に応じて通院や送迎等、必要な支援は柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご利用者が安心して地域での暮らしを続けられるよう警察、民生委員と意見交換する場を設けている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族が希望するかかりつけ医となっている。また受診、通院は、ご本人、ご家族の希望、状況に応じて対応している。	かかりつけ医は本人や家族の希望を大切にしている。かかりつけ医の往診や歯科は月2回の訪問診療で対応している。皮膚科等の他科受診は家族の了解を得て事業所で対応している。緊急時の対応は連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援し、受診結果はそのつど家族に報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	看護職員を配置しており常にご利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行えるようにしている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時にはご本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供し、ご家族とも情報交換を行いながら、なるべく早く退院できるようアプローチしている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	ご本人、ご家族の意向を考慮し、話し合いを重ね医師と看護師、介護スタッフが連携を行いながら安心して納得した最後を迎えられるように取り組んでいる。	契約時に重度化に伴う対応の指針を説明し、同意書を貰っている。段階的に本人や家族・医師・看護師・職員で話し合い、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。家族の協力を得て看取りを数回体験している。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けています</p>	職員全員が定期的に心肺蘇生の訓練を受け、いつでも対応できるように実践力を身に付けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	スタッフ全員が定期的に防災訓練を受け、地域と協力し避難できるよう体制を整えている。	消防署の指導の下で総合訓練を年2回、自主訓練を年4回、昼夜想定の避難訓練やA E Dの訓練を実施している。運営推進会議参加者や地域の人々も参加して避難場所や避難経路の確認をしている。スプリンクラーや緊急通報装置を設置し、緊急連絡網に地域住民の登録等、地域との協力体制ができている。災害時の水や米・おかゆ・インスタント食品・カレー・カップ麺等の備蓄もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>年長者として敬意を払い、ご本人を傷つけない言葉かけや羞恥心に配慮したケアを行っている。</p>	<p>マニュアルに沿って勉強会を行い、誇りやプライバシーを尊重した言葉かけに取り組んでいる。入浴やトイレ誘導等では羞恥心に対する配慮を行っている。名前は「さん」付けで呼んでいる。個室の戸の開閉は個々の考えを尊重して対応している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>難聴の方はホワイトボードで筆談しコミュニケーションをとっている。意思表示できるような声掛けをしている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>1人1人の体調を配慮しながらご本人のペースに合わせた対応を心掛けている。行きたいところへ外出したり希望を聞いている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>個々の生活習慣に合わせ、外出時、化粧をされたり鏡を見られます。自己決定がしにくい方もスタッフと一緒に考えながら身支度しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員はご入居者1人1人の好みを知っており、ご本人に応じたお手伝いをして頂き、美味しく食べている。	菜園の野菜や旬の食材で、利用者の嗜好に配慮した食事形態を工夫している。買い物や準備・片づけを職員と一緒に行っている。誕生日には希望を取り入れた食事や季節の行事食、弁当持参でのピクニック等、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	季節の物を取り入れた食材を使い、工夫して調理している。1人1人の体調に合わせ、食べやすいもの、好きなものをお出しするようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後必ず口腔ケアにお連れし、それぞれの力に応じて出来ないところをお手伝いさせて頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	おむつ使用を減らすため、時間ごとにトイレに座って頂き排泄の自立に向けた支援を行っている。	チェックシートを作成し排泄のリズムを把握し、必要に応じての声かけで、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。排泄用品は個々人に合わせて対応している。布パンツに改善した事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44	○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄状態を把握し、便秘の方には豆乳をお出しうる等、その方に応じた予防を行っている。			
45 17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	ご利用者の体調をみながら、1人1人の意向に添って、お湯の温度など満足して頂けるよう安全な入浴。足湯など体調改善になるよう入浴支援を行っている。	入浴は週3回を原則としているが、個々人の体調や希望にそつて柔軟に対応している。入浴剤を使う等、入浴を楽しめるように支援している。入浴を拒む利用者には声かけや時間調整等、職員間で連携して、保清に配慮している。		
46	○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人のペースに合わせて休憩などを取り入れ、生活リズムを整えるように努めている。			
47	○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ファイルを作成し、薬の効能、副作用の説明をスタッフが理解し、ご本人に手渡し服用できているか確認ダブルチェックをしている。薬に対してはDr、看護師と連携している。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	1人1人の力を発揮してもらえるよう出来そうなお仕事をお願いし、感謝の言葉を伝える。（調理の野菜の皮むきやカット、洗濯物干し、たたみなど）		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	体調をみながら、外気浴に出掛けている。戸外に出掛けられるよう行事の計画をし、積極的に外出している。	外出支援に力を入れている。個々の希望により、行きたい場所や食べたい物や店等に出かける事もある。日常的には周辺の散歩や買い物・中庭での外気浴やお茶飲みをしている。計画を立てて、初詣や花見・ピクニック・地域行事等に積極的に出かけている。家族の協力で外出や外食・墓参等の際にも支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	常時は持っていないが、買い物時、または購入希望訴え時などはすぐに購入できるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご希望があればその都度対応している。又、携帯電話を持っておられる方は居室で電話されている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間については、安全性を考慮して歩行や通行の妨げにならないようにしている。フロアなどの飾りつけなどは季節に応じて設置している。	玄関には季節の花鉢を置き、廊下は広く車椅子でも十分に移動できる。共用空間も広く、採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。壁には行事へ参加した写真や手作り作品が飾られ、季節感を大事にした花や飾りつけがされている。ウッドデッキに自由に入り出しき開放的である。ゆったりしたソファーに利用者が集まり、皆の憩いの場所になっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールにソファーを設置してご利用者同士がコミュニケーションが取れるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みのもの（寝具やタンス）を使用している。タンス等は安全性を考慮して配置している。	居室はベッドが備え付けである。必要時は電動ベッドのリースがある。家具や寝具・鏡台・ラジオ・仏壇・遺影・写真・ぬいぐるみ等を持ち込み、自宅に近い環境が工夫されている。夜間の常夜灯は、その人の希望で自由に安心して過ごせるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室に馴染みの物を置き、その人らしく過ごせるお部屋や、時にはラジオや音楽を聞いて頂いている。		

## V アウトカム項目

			1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目 : 23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目 : 18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目 : 38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目 : 36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまに
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
		<input type="radio"/>	2 少しづつ増えている
		<input type="radio"/>	3 あまり増えていない
		<input type="radio"/>	4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない